



発行
第34号

中国地方クルーズ振興 協議会情報

○「2016年の我が国のクルーズ等の動向（調査結果）」が発表されました。

国土交通省ホームページにて、「2016年の我が国のクルーズ等の動向（調査結果）」が発表されました。

(http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji02_hh_000220.html)

概要は以下の通りです。

- ・ 2016年の日本人のクルーズ人口は5年連続の20万人台となる24.8万人となり、過去最多になりました。
- ・ 我が国の港湾へのクルーズ船の寄港回数は、中国からのクルーズ船の寄港増等により大幅に増加し2,017回、訪日クルーズ旅客数は199.2万人となり、こちらも過去最高になりました。

○「たまの・港フェスティバル2017」でのクルーズ振興活動について

(情報提供：中国運輸局岡山運輸支局玉野庁舎)

平成29年5月20日(土)～21日(日)の両日、岡山県玉野市最大の海に関するイベントである「たまの・港フェスティバル2017」が開催されました。岡山運輸支局玉野庁舎も開催初年度の平成12年度から参加しており、クルーズ振興、救命胴衣着用推進、「海の駅」周知、FRPリサイクルシステム周知等の海に関する利用振興及び安全確保に関する周知・啓蒙活動を実施しております。



帆船「日本丸」が来港しました



3大クルーズ客船のパネル展示



救命胴衣着用推進マスコット・ウクゾウくんも、クルーズ振興活動をお手伝い



クルーズ客船ペーパークラフト等の配布

両日とも抜けるような青空の下、本年度のフェスティバルは75,000人（2日間合計）の来場者がありました。

岡山運輸支局玉野庁舎ブースでは、日本が誇る3大クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」、「にっぽん丸」、「ぱしふいっくびーなす」の勇姿に触れることのできるパネル（（一社）外航客船協会様ご提供）の展示、クルーズ客船に係るパンフレットの配付等を通じて、クルーズ振興活動を実施いたしました。

例年同様、クルーズに関心をお持ちの多くの方が、ブースへ来られ、宇野港へのクルーズ客船の入港増加を望んでおられました。

中国地方クルーズ振興協議会におきましては、機会を捉えて継続的にクルーズ振興に努めていきたいと考えており、宇野港へのクルーズ客船の更なる入港を心待ちにしています。

発行年月日：平成29年6月9日

発行元：中国地方クルーズ振興協議会事務局
（中国運輸局 海事振興部 旅客課内）

電話：082-228-3679

fax：082-228-7309